

特別寄稿について

今回の特別寄稿について、その経緯を簡単に紹介します。

2001年度に長崎外国語大学が発足しましたが、それを記念する行事として、フランス語フランス文化コースでは文化講演会を企画し、講師に東京大学名誉教授小林善彦氏をお迎えすることにしました。演題は「日仏関係と文化交流を考える」と決まり、1月25日に行われた講演会には、本学学生・教職員および一般市民の方の多数の参加が得られました。講演の最後には、参加者から種々の質問があり、小林善彦氏は幅広い経験談を交えながら、フランス語を学ぶ学生へのアドバイスも加えての応答で締めくくられた。

講演会後の歓談の際に、本学の光田明正学長から、講演内容を本学の研究機関紙「論叢」に載せてはどうかという提案がなされた。テープを書き起こす案も出たが、原稿をいただけることになり、このように特別寄稿の形での掲載が実現しました。

講演後に、このように執筆の労をとってくださった小林善彦先生に、あらためて感謝の意を表したいと思います。

2002年6月14日

長崎外国語大学フランス語コース主任

阿南婦美代